

令和8年度

第2回 学校運営協議会

令和 8年 7月14日（火）

9：10～10：30（会議室）



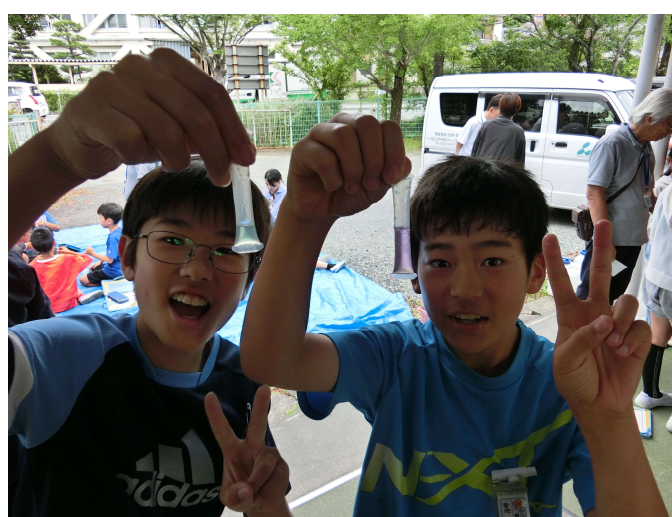
1年生を迎える会



運動会



読み聞かせ



伊佐地川学習

浜松市立伊佐見小学校

【 次第 】 司会（教頭）

1 開催要件の確認

2 会長挨拶

3 校長挨拶

4 議長選出

5 前回会議録の確認

6 熟議（議長進行）

～学校評価アンケート①をもとに～

①現時点における児童及び学校の課題を捉える

②課題から、どのように教育活動の充実を図るか（学校・地域・保護者が取り組んでいくこと）を具体的に考える

7 報告

・ボランティアの活動について

8 連絡

・次回の会合について【12月15日(火)9：10～11：00】

・光のシンフォニー【10月23日（金）本校体育館にて開催予定】

第2回 学校運営協議会参加者名簿

学校運営協議会委員

会 長	イ ヨ ダ ヒサシ 伊代田 尚志	
副 会 長	フルハシ ヒロイチ 古橋 廣一	
委 員	ムラカミ ク ミ コ 村上 久美子 (学校支援コーディネーター兼任)	
委 員	シマノ ナ オ キ 嶋野 直輝 (学校支援コーディネーター兼任)	
委 員	ナカムラ ヨシミチ 中村 勝信	
委 員	オガイ ユ リ 小粥 裕里	
委 員	ヤマモト 山本 あすか	
委 員	ムラカミ ショウイチ 村上 昇市	
委 員	カトウ ヨシタカ 加藤 吉隆	
委 員	トモダ リ エ コ 友田 理恵子	

オブザーバー

伊佐見協働センター	鈴木 浩夫
学校支援コーディネーター	新村 育枝

学校

校 長	ツチヤ ケンジ 土屋 憲司
教 頭	ツジムラ フ ミ コ 辻村 文美子
教 務 主 任	ホンガシ リョウスケ 本楳 亮介
CS 担当教諭	オオノキ マ ナ ヨ 大軒 麻奈代
CS ディレクター	マブチ ヒトミ 間渕 仁美

令和8年度 第1回 伊佐見小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和8年5月15日（金） 9時50分から11時30分まで
- 2 開催場所 伊佐見小学校 会議室
- 3 出席委員 伊代田 尚志、古橋 廣一、嶋野 直輝（学校支援コーディネーター兼任）、
中村 勝信、小粥 裕理、山本 あすか、村上 昇市、加藤 吉隆、
友田 理恵子
- 4 欠席委員 村上 久美子（学校支援コーディネーター兼任）
- 5 オブザーバー 鈴木 浩夫（伊佐見協働センター）
- 6 学 校 土屋 憲司（校長）、辻村 文美子（教頭）、本樫 亮介（教務主任）、
大軒 麻奈代（CS担当教諭）、間瀬 仁美（CSディレクター）
- 7 傍 聴 者 なし
- 8 会議録作成者 CSディレクター 間瀬 仁美
- 9 議長の選出

司会の辻村教頭から議長の選出について意見を求めたところ、互選により第1回を伊代田会長、第2回を山本委員、第3回を古橋副会長、第4回を嶋野委員が務めることとなった。

10 協議事項

- （1）学校運営基本方針・学校いじめ防止基本方針について
- （2）学校運営協議会の自己目標の決定
- （3）夢育やらまいか事業（CS加算分）に対する意見書について

11 会議記録

司会の辻村教頭から、委員総数10人のうち9人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

（1）学校運営基本方針・学校いじめ防止基本方針について

土屋校長より、令和8年度の学校運営基本方針について説明があり、委員からは以下の発言があった。

- ・運動会が5月になり、5・6年生のフラッグの演技は練習時間不足でできないとのことだったが、子供たちの要望に応じて先生が許可してくれ、子供たちも練習をがんばっている。正に「こころざしをもち 高め合う」という学校目標のとおりだと思った。（嶋野委員）
- ・「こころざしをもつ」というのは小学生にとっては難しいので、夢を持つ、希望を持つといったところから、段階的に進めていってほしい。（村上昇市委員）

引き続き、土屋校長より学校いじめ防止基本方針について説明があり、委員からは以下の発言があった。

- ・いじめは小学校だけでなく、中学、社会に出てもあるので、強さも必要。また、いじめ問題は大きすぎるので、ひとつひとつ対応していくしかない。先生や保護者が関わったほうが良い場合もあるし、子供たちで解決させたほうが良い場合もある。中学になるともっと深刻になるので小学校のうちにどう対処するかが重要。（中村委員）
- ・いじめはどこにいてもあり、ケースも様々。いじめられる側に乗り越える気概を持たせることも必要。（古橋委員）
- ・いじめに一番先に気付ける可能性があるのは家族。日々、家庭でもたくさん話す機会を作り、子供自身が思ったことを言葉にできるように訓練することも必要。（山本委員）

- ・いじめる側にもストレスなどの問題があり、それを言える機会があれば防げる場合もあるのでは。心のケアをし、いじめなくても済む環境を。(小粥委員)
- ・高齢者の孤立が問題になっているが、これは子供にもあてはまる。友達がいなければ話せない。(中村委員)
- ・このような問題が議論されるようになったことは良いこと。もっと発信してほしい。(村上昇市委員)
- ・私が子供の頃は怖い先生がいて、いじめをすると叱られた。厳しい指導で改心することもある。(加藤委員)
- ・話せることが大事。事態が小さいうちに話してもらえれば、大きな問題に発展しないのでは。また、子供は親の言っていることをよく聞いているので、親の存在も影響すると思う。保護者にも関わってもらいたい。(友田委員)

(2) 学校運営協議会の自己目標の決定

辻村教頭より、学校運営協議会の自己目標について説明があり、委員からは以下の発言があった。

- ・情報発信についての評価が低い、学校からの投げかけが少ないように思う。学校が何をしてほしいかや具体的な課題を提示することで熟議や発信に繋がるのでは。(小粥委員)
- ・協議会の会則にも情報発信についての記述がある。目標に入れるべきか。(伊代田委員)
- ・情報発信については本年度の目標案に含まれるということでよいのでは。(古橋委員)

(3) 夢育やらまいか事業(CS加算分)に対する意見書について

辻村教頭より、夢育やらまいか事業のCS加算分についての説明があり、委員からは以下の発言があった。

- ・学校にお任せしたいが、伊佐地川学習の安全対策もお願いしたい。(古橋委員)
- ・読み聞かせボランティアの研修はあるのか。感情を込めるかどうかなど。(友田委員)
→読み方は個人にお任せしており、本も自由に決めていただいている。気軽に参加してほしい。(嶋野コーディネーターからの回答)
- ・読み聞かせは、紙芝居をしたりクイズをしたり、自由。自分が楽しむことも大事。保護者も学校を知るために参加してほしい。(小粥委員)
- ・読み方に関してはいろいろな意見があるが、読み聞かせの目的は子供が本を好きになることなので、いろいろな人がいろいろな読み方をすればよい。(村上昇市委員)
- ・読み方などをあまり厳しくしてボランティアが少なくなってしまう。(古橋委員)
- ・夢育やらまいかのお金は、熱中症対策のための飲み物やプールの見守りの際の日除け、人工芝などにも使えるのか。(山本委員)
→ボランティアの方にお茶を用意したことはある。(辻村教頭からの回答)

その他、委員から以下の発言があった。

- ・部活動の地域移行はどうなっているのか。(古橋委員)
→小学校は部活動を行っていないので影響はない。(土屋校長からの回答)
- ・学校公開日は、自由に誰でも来ていいのか。(小粥委員・友田委員)
→自由に誰でも参観していただける。(辻村教頭からの回答)

12 報告事項

大軒教諭より、令和8年度のボランティアの活動計画について説明があった。

辻村教頭より、次回の協議会が7月14日に開催される旨の案内があった。

【熟議】 ～学校評価アンケート①をもとに～

(1) 現時点における児童及び学校の課題を捉える

(2) 課題から、どのように教育活動の充実を図るかを具体的に考える

①グループ別協議

A (地域でできそうなこと)

・・・嶋野、中村、加藤、鈴木、土屋

B (家庭でできそうなこと)

・・・古橋、小粥、友田、山本、新村、辻村

C (学校でできそうなこと)

・・・伊代田、村上(久)、村上(昇)、本樫、大軒

②全体共有

